

山梨県立大学 国際政策学部
申 龍徹

【今後の展開 商品イメージ応用できる分野】

マンガ・アニメを活用した観光まちづくりの取り組み

山梨県南部町において実施された「ゆるキャン△」を活用した地域おこし活動について、その背景、目的、実施内容および成果の共有

マンガ・アニメ「ゆるキャン△」

山梨県周辺を舞台にキャンプ場でのレクリエーションや野外調理などといったアウトドア趣味の魅力と、それを身の丈に合った範囲で満喫する女子高校生たちのゆるやかな日常を描く。『まんがタイムきららフォワード』（芳文社）にて2015年7月号から2019年4月号まで連載され、同年3月29日より芳文社の漫画配信サイト『COMIC FUZ』に移籍して連載中。2024年時点では累計1,000万部を突破している。



【活動目的】

アニメ「ゆるキャン△」を観光資源として積極的に活用し、集客効果を高めること

- アニメに登場するキャラクターやロケ地を活用した観光プランの提供や、コラボ製品の開発、そして「ゆるキャン△」のキャラクターを観光大使として起用することで観光客の誘致を目指す。
- メディア露出を増やすことを通じて、南部町の認知度を高め、観光業の振興を図ること

① 南部町役場での顔合わせ

- ・地域振興の目的や事業の進行方法について協議を行い、アニメ「ゆるキャン△」を地域資源としてどう活用するかという点を中心に議論
- ・アニメ「ゆるキャン△」の人気やファン層の広がりを活かし、地域の観光資源としての可能性を見出し、どのように地域振興に繋げるかを検討

② 実際に「ゆるキャン△」の舞台となる場所、いわゆる聖地を訪れる

- ・作品に登場する内船駅周辺や井出駅周辺、内船寺、道の駅なんぶなどのロケ地を実際に訪れ、現地の状況を詳しく確認
- ・現地視察を通じて、観光客が楽しむための具体的な提案を行い、キャラクターパネルの設置や、写真撮影スポットの設置を提案
- ・広報活動の重要性が認識され、どのようにして南部町の魅力を広く伝えるか、メディアとの連携の方法についても話し合い
- ・商店でのコラボ商品の販売や道の駅でのキャラクター展示といった具体的な活動案を提案し、地元の事業者と協力をお願い

③ 具体的なコラボ企画を紹介し、実施に向けた準備

- ・「ゆるキャン△」シリーズのスタンプラリーである「ゆる巡りスタンプ」の設置が具体的に進め、地元商店や道の駅との連携によって「ゆる巡りスタンプ」の導入に成功
- ・コラボ商品の販売やスタンプラリー実施に関しては、さらに広げるためのアイデアが必要（R7年度もゼミの学生で取り組み中）

